

講義名	管理会計論			授業形態	
担当教員	永田 大貴	開講期・曜日・時間	前期 木曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

### 主題と概要

管理会計は、企業「内部」の人々が、計画・統制・意思決定を行うために用いる会計である。本講義では、管理会計を経営管理のための実践的な道具として位置づけ、損益分岐点分析（CVP分析）、予算管理、差異分析、意思決定のための分析、投資意思決定、業績評価などの基本的な考え方や手法を学ぶ。計算手続の習得に加えて、各手法がどのような経営場面で用いられるかを扱い、会計情報の有用性と限界も確認する。

### 到達目標

本授業は、高学号DP（供給者と生活者の複眼的視点に立った問題解決）および、経営学号DP（問題探索・課題提案）、会計コースDP（会計情報の作成・分析等）に基づき、以下を到達目標とする。  
 1. 管理会計の基本概念および主要手法について、目的や活用場面を含めて説明できる。  
 2. 原価・利益等の会計情報を用いて、簡単な分析と解釈ができる。  
 3. 予算・差異分析、投資意思決定等の場面で、意思決定に必要な情報を整理できる。  
 4. 管理会計情報の有用性と限界を理解し、判断や振り返りに活かす観点を持つ。

### 提出課題

毎回の演習問題を提出課題とする。小テストを実施する場合がある。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業の冒頭に、前回の演習問題の解説を行う。必要に応じて、小テストや期末試験についても、実施後に講評と解説を行う。

### 評価の基準

提出課題（毎回の演習問題）60%、期末試験40%とする。

### 履修にあたっての注意・助言他

授業では計算問題を扱うことがあるため電卓が必要。

### 教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

### 参考図書

.エッセンシャル管理会計<第4版>.	谷武幸	中央経済社	3080	9784502439018

### その他

### 授業計画

- 第1回 管理会計とは何か（財務会計との違い、内部利用）  
 予習内容：管理会計とは何か調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第2回 原価の基礎概念（原価分類と意思決定）  
 予習内容：原価が管理会計においてどのような役割を果たすか調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第3回 CVP分析（損益分岐点と利益構造の理解）  
 予習内容：企業においてCVP分析がどのように利用されるか調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第4回 予算管理と責任会計  
 予習内容：予算管理とは何か調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第5回 直接費の差異分析  
 予習内容：差異分析とは何か調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第6回 製造間接費の差異分析  
 予習内容：製造間接費の差異分析の考え方を調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第7回 稼働率差異・販売数量差異  
 予習内容：稼働率差異と販売数量差異について調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第8回 原価変動の決定要因  
 予習内容：原価はどのように変動するか調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第9回 差額分析と意思決定  
 予習内容：差額分析はどのように利用すべきか調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第10回 顧客収益性分析  
 予習内容：顧客収益性分析がどのように利用されるか調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第11回 製品・事業の収益性と意思決定  
 予習内容：収益性にもとづく意思決定の例を調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第12回 設備投資の意思決定（正味現在価値法・内部収益率法）  
 予習内容：設備投資の意思決定とは何か調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第13回 設備投資の意思決定（回収期間法・会計的収益率）  
 予習内容：回収期間法と会計的収益率について調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第14回 業績評価における会計情報の役割と限界  
 予習内容：業績評価で考慮すべき点を調べておく（120分）  
 復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第15回 管理会計の応用と限界（ケースを用いた総合）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目は、企業内部における計画・統制・意思決定のために、会計情報をどのように用いるかを扱う科目である。管理会計の基本手法（CVP分析、予算管理、差異分析、投資意思決定、業績評価等）を学ぶことで、経営上の問題探索や課題提案に必要な基礎的な見方を身につける（経営学号DP）。また、会計情報を用いた分析と解釈を通じて、企業の状況を整理し、管理会計システムを経営にどう活かすかを考える基礎を形成する（会計コースDP）。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業では、講義に加えて毎回演習を行い、解答の共有を行う。ICTはLMS/Teams等を用い、資料配布、演習問題・解答の提示、質問受付、連絡事項の共有を行う。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考